

テレコントロール装置
XSW-100

取扱説明書

Ver.122 BB0506

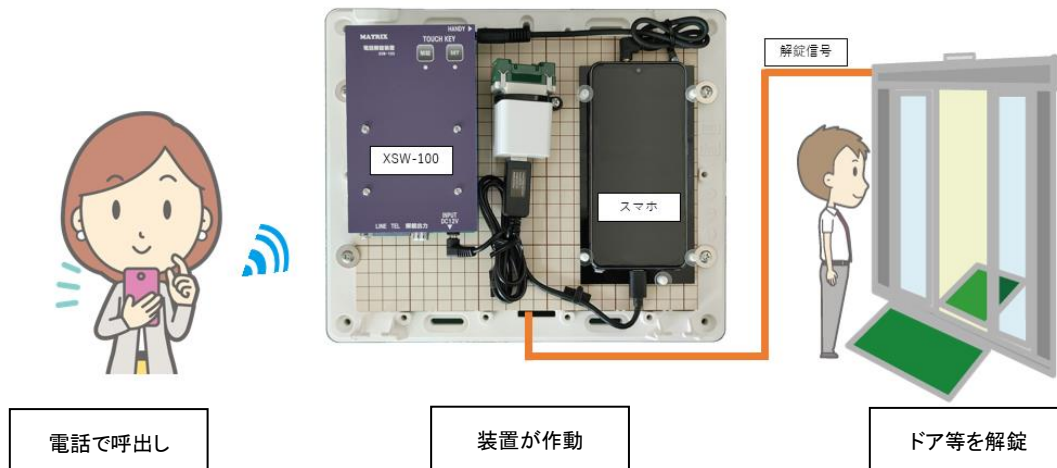
＜目次＞

1.	主な特徴	3
2.	型番の構成	4
3.	各部の名称	5
4.	付属品	6
5.	本体の接続	6
6.	装置の設置	9
7.	装置本体の直接操作	9
8.	スマートフォン/携帯電話で着信する場合の設定	10
8-1.	自動着信設定（スマートフォン/携帯電話の設定）	10
8-2.	音量設定（スマートフォン/携帯電話の設定）	10
8-3.	操作方法	10
9.	遠隔操作方法	12
10.	制御機器の出力を制御する（遠隔操作）	13
10-1.	制御機器の状態を確認する	13
10-2.	制御機器の出力をオフする	13
10-3.	制御機器の出力をオンする	13
10-4.	解錠番号を使って制御機器の出力をオンする	14
11.	装置の詳細設定（遠隔操作）	15
11-1.	パスワードの設定	16
11-2.	呼び出し時間の設定	16
11-3.	出力オン後に自動的にオフする設定	16
11-4.	出力オフ後に自動的にオンする設定	17
11-5.	着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定	17
11-6.	音声ガイダンスの変更	18
11-7.	音声ガイダンス遅延時間の設定	18
11-8.	解錠番号の登録	19
11-9.	スマートフォン/携帯電話の着信方法の変更	20
11-10.	全ての設定を初期化する	21
12.	装置の詳細設定（装置の「TEL」に接続した電話機にて直接設定）	22
	サービスコード一覧	22
12-1.	制御項目一覧	22
12-2.	設定項目一覧	23
13.	着信用スマートフォン/携帯電話での制御	25
13-1.	便利な機能	25
14.	リレー接点出力とセンサ入力の回路	26
A.	リレー接点出力	26
15.	仕様一覧	27
16.	使用上の注意	27

1. 主な特徴

テレコントロールスイッチ XSW-100 は、装置に電話をかけることで電気錠の解錠などを行う遠隔制御装置です。

この取扱説明書においては、「テレコントロールスイッチ XSW-100」を「本装置」、電気錠、自動ドア等を「制御機器」と表記しています。あらかじめご了承ください。



本装置のリレー接点に、遠隔操作する電気錠、自動ドア等(制御機器)を接続します。接続したスマホに電話がかかると、制御機器を解錠します。

出力ボタンを押して、本体から制御(施工時の試験用など)する事も可能です。

- 本装置を遠隔操作するには、着信用のスマートホン/携帯電話が必要になります。通信用の sim カードも併せてご用意ください。
- 装置に併設するスマホは着信動作のみ行います。そのため基本料金のみで運用でき、通話料は発生しません。
- スマホの設定で解錠できる電話発信元を制限できます。
例: マンション住人の番号を電話帳に登録、登録がない番号は着信拒否、等
- 遠隔操作で、制御信号の状態を確認する事ができます。
- 本装置の電源が切れても、制御機器の出力のオン・オフの状態を記憶しています。再起動すると、自動的に本装置の電源が切れた時の状態に戻ります。

2. 型番の構成

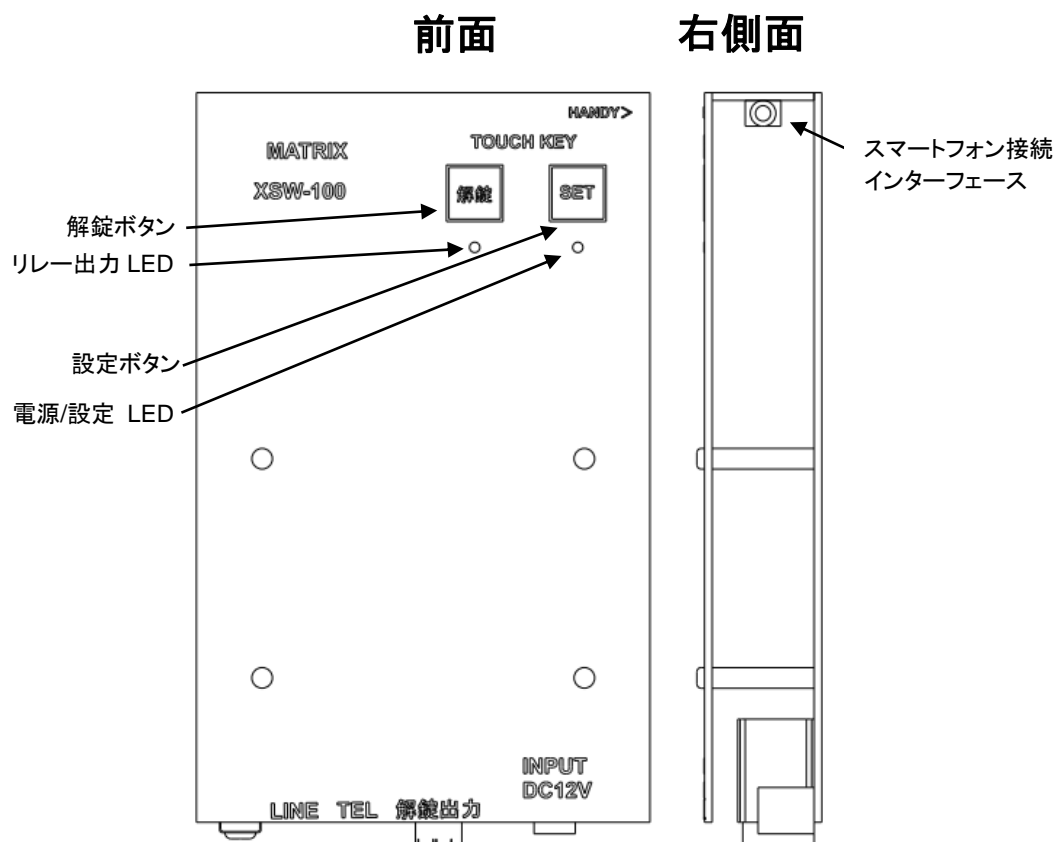
XSW シリーズは、対応している機能によって型番が異なります。

- **テレコントロール装置< 型番:XSW-100 > ※本装置**
リレー接点 on/off による制御が1系統可能です。
初期設定で電話着信するだけで解錠するようになっています。
- **テレコントロール機能< 型番:XSW-211 >**
リレー接点 on/off による制御が2系統、USB 連動タップ制御が1系統可能です。
- **スマートホン/携帯電話での着信機能< 型番:XSW-211-HP>**
電話回線が準備できない場合など、スマートホン/携帯電話で着信することができます。
(XSW-211-HP は、下記の -HP1 の設定にて出荷致します。)
本説明書の「スマートホン/携帯電話で着信する場合」の説明を参照ください。
XSW-211-HP1 スマートホン接続タイプ(イヤホンジャックが CTIA タイプ)
XSW-211-HP2 スマートホン接続タイプ(イヤホンジャックが OMTP タイプ)
XSW-211-HP3 携帯電話接続タイプ
(HP3 は、使用できる携帯端末の入手が困難な状況となっています)
- **受付電話機能< 型番:XSL-100 >**
本装置に受付電話機と、自動ドアまたは電気錠を接続し、受付電話機で訪問先の内線電話番号をダイヤルして通話が可能です。
通話中に、訪問先の電話機で[*]が押されると、本装置が感知して自動ドア・電気錠が解錠します。
- **マンション用解錠機能< 型番:XSR-100 >**
本装置に受付電話機と、自動ドアまたは電気錠を接続し、受付電話機で訪問先の室番号が押されると、室番号毎に登録された電話番号にダイヤルして通話します。
通話中に、訪問先の電話機で[*]が押されると自動ドア・電気錠が解錠します。
- **型番説明**

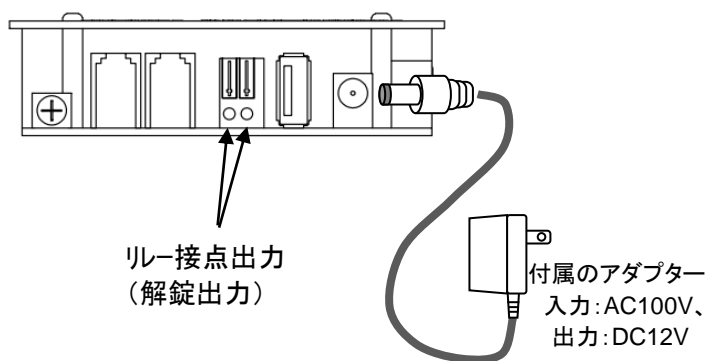
<型番 XSV-□△○◇ >

- ▽ : 機能 (W:リレー動作、L:受付電話機能、R:マンション用解錠機能)
- : リレー出力数
- △ : USB 連動タップ用出力の有無(0:無、1:有)
- : センサ入力の有無(0:無、1:有)
- ◇ : 回線種別 (無 :固定電話回線、
HP1:スマートホン 3.5mm 4極 CTIA ジャック

3. 各部の名称



下面



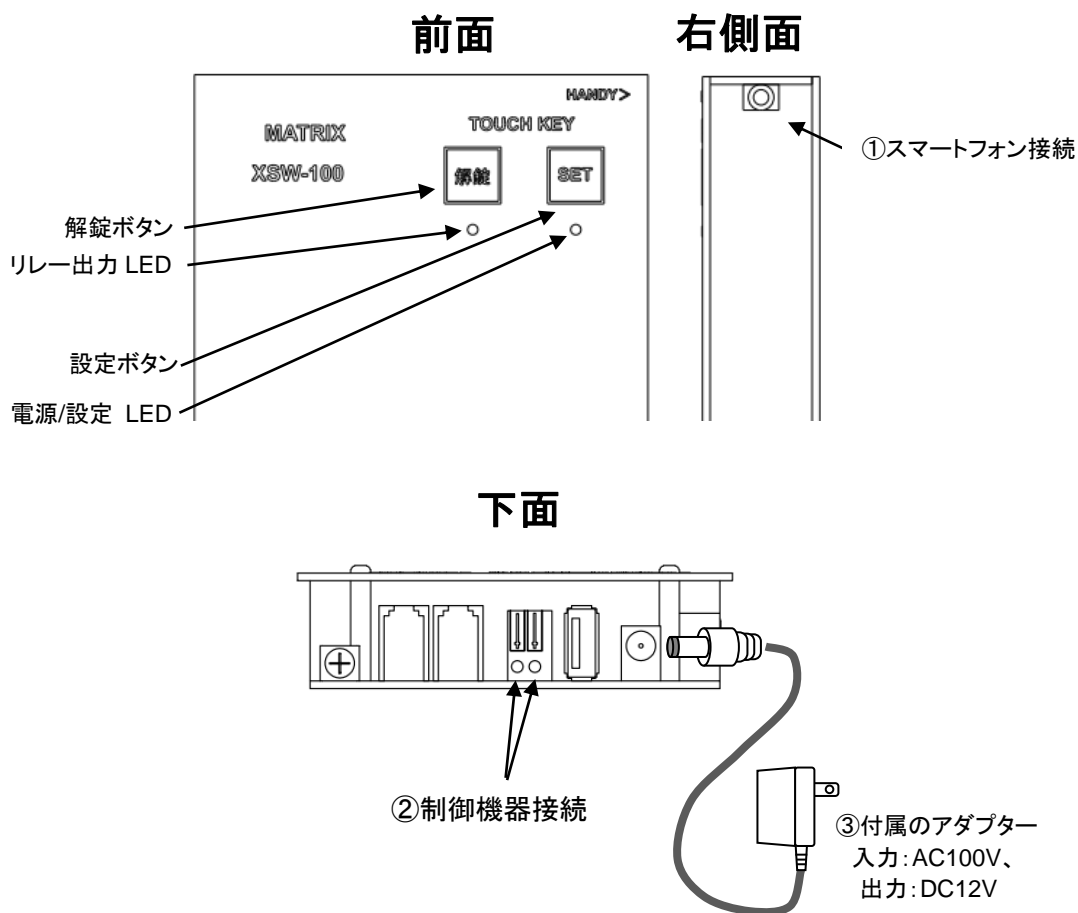
4. 付属品

付属品としては以下のものが同梱されています。ご確認ください。

- ・ 装置本体 1台
- ・ ACアダプター 1台
- ・ スマホ 接続用ケーブル 1本

- ・ 取扱説明書 1冊(本誌)

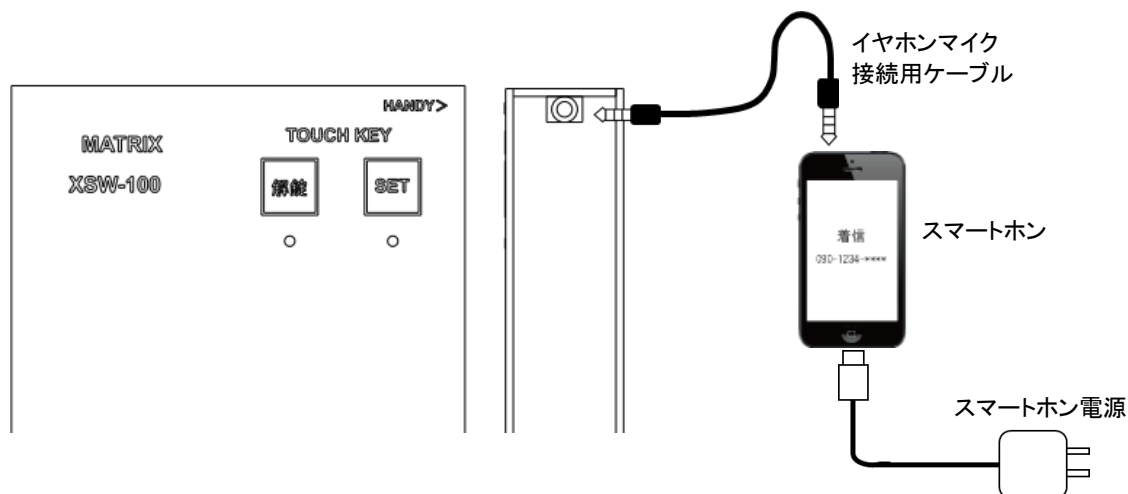
5. 本体の接続



- ① 着信用スマートフォンを接続してください。詳細は①-1を参照ください。
- ② 制御機器の接続を行ってください。
- ③ 最後に、本装置の電源を入れてください。

<①-1 着信用スマートフォンへの接続>

イヤホンマイク接続用ケーブルを、片方は本装置の HANDY のコネクタに接続し、もう片方はスマートフォンイヤホンマイク用コネクタに接続してください。



※イヤホンジャックの CTIA タイプと OMTP タイプでは、4 極の信号の並びが異なりますので、御注意ください。OMTP タイプはご利用になれません。

※自動着信(コール数秒後に自動的に電話を取る)が可能なスマートフォンをご利用ください。

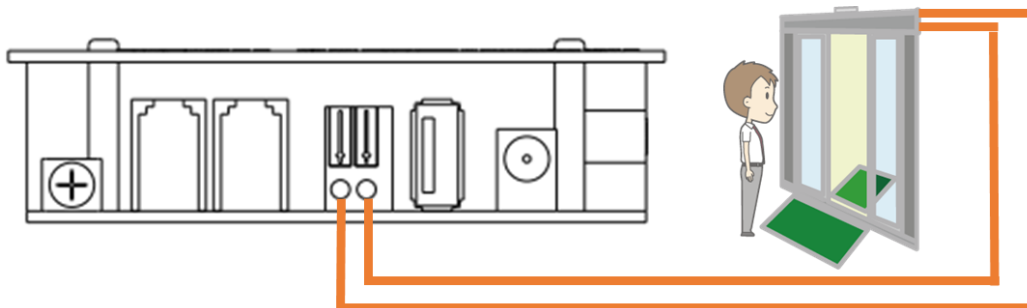
※スマートフォン/携帯電話と本装置はなるべく離してください。電波が装置に飛び込み、ノイズや誤動作の原因になることがあります。

※使用する携帯電話について、「15-2.注意点」をご確認ください。

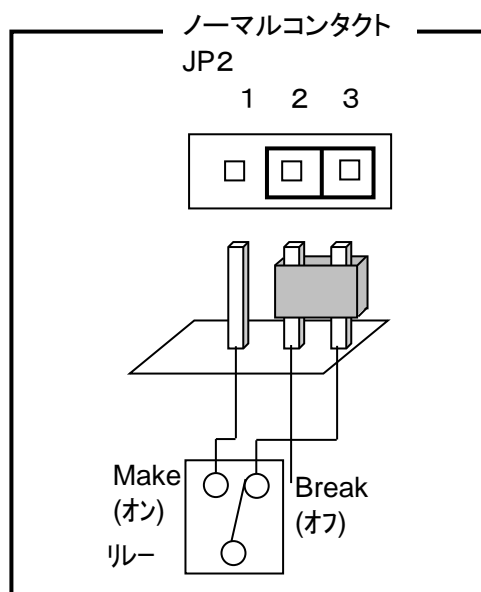
<②制御機器の接続>

②-1 制御機器を、本装置のリレー接点出力に接続します。リレー接点出力の最大定格は24V 1A です。

「OUT1+」と「OUT1-」が A 接点 (ドライ接点) です。



OUT1+/-は、ノーマルオープンとノーマルコンタクトを本体内部の JP2 により切り替えることができます。(ノーマルオープン:①②をショート(出荷時)。ノーマルコンタクト:②③をショート) 切替えは、電源 off の状態で行ってください。OUT2+/-は、ノーマルオープン固定です。

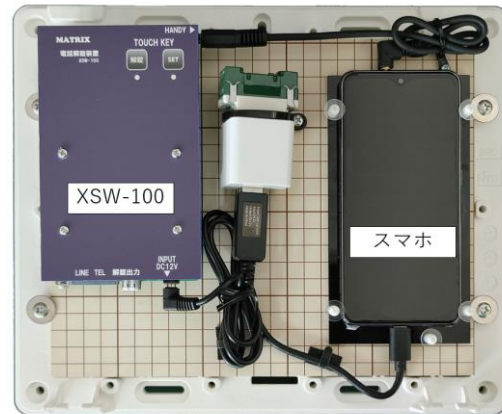


6. 装置の設置

ウォールボックス外見図



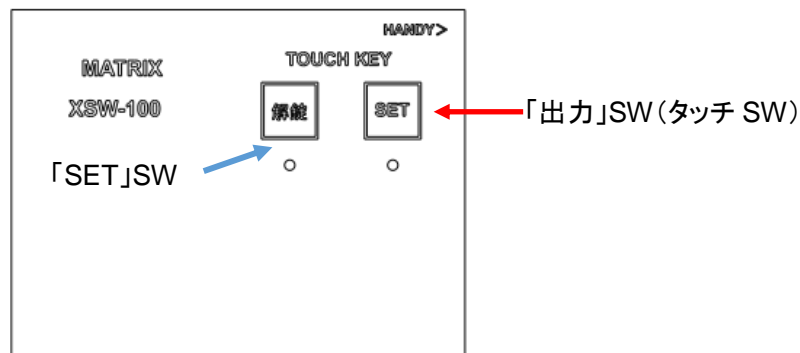
ウォールボックス内部



XSW-100 は上図のウォールボックスに内包された状態で出荷しています。
 ウォールボックスは外形寸法(横×縦×深さ)(mm)300×250×80 となります。
 壁などに固定し、**必ず電波状況の良い場所に設置してください。**
 金属ボックス内など電波が入りづらい場所に設置すると正常に動作しないことがあります。

7. 装置本体の直接操作

本装置が動作中は、「SET」SW 下の LED が点灯します。
 遠隔操作中は点滅します。

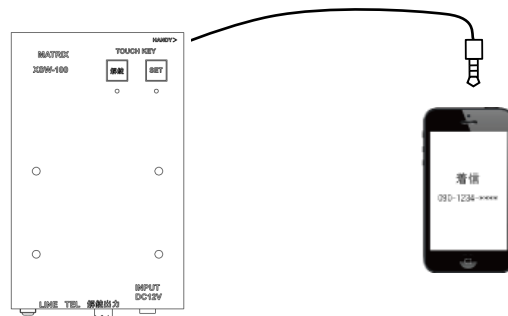


制御機器の出力をオンするには、「解錠」ボタンを長めにタッチします。出力オンされると「解錠」SW 下の LED が点灯します。
 再度「解錠」ボタンにタッチすると出力オフします。
 出力オフされると「解錠」SW 下の LED が消灯します。

尚、遠隔操作で出力オン・オフする場合は、「8.遠隔操作方法」を参照して操作して下さい。

※本装置を再起動した場合は、再起動前の制御機器の出力オン・オフ状態に戻ります。

8. スマートホン/携帯電話で着信する場合の設定



本装置とスマートホン/携帯電話を接続して遠隔操作する場合は、スマートホン/携帯電話の自動着信機能を使用して通話できるようにします。

8-1. 自動着信設定（スマートホン/携帯電話の設定）

自動着信機能は、スマートホン/携帯電話のイヤホンマイク用コネクタにケーブルを接続して、自動的に着信に応答する機能で、スマートホン/携帯電話側での設定が必要になります。スマートホン/携帯電話の端末によって設定方法は異なりますので、各端末の取扱説明書をご覧ください。

8-2. 音量設定（スマートホン/携帯電話の設定）

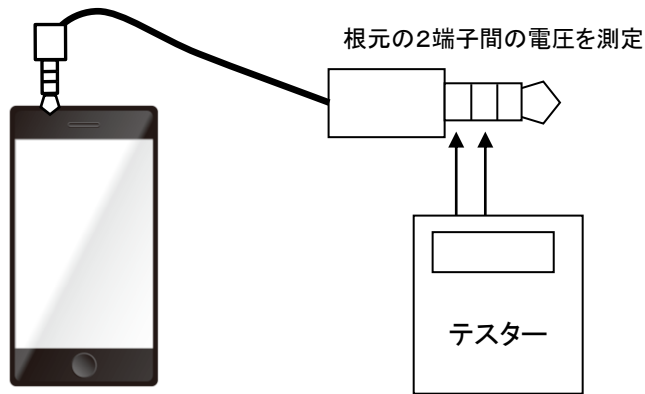
イヤホンマイクからの音量が過大・過小であると正常に動作できないことがあります。着信音量は中間程度にしてください。

8-3. 操作方法

スマートホン/携帯の電話番号に電話します。装置が自動応答して「パスワードをどうぞ」という音声ガイダンスが聞こえたら、後は電話回線経由の制御と同じですので電話回線経由からの制御を参照していただき制御を行ってください。

◆ スマートホン/携帯に着信ができない場合

本装置は、イヤホンマイクの中のマイクへの電圧を監視して、着信を感知しています(11-9.スマートホン/携帯電話の着信方法の変更の初期設定がされている場合)。多くのスマートホン/携帯では着信時にマイクへ電圧を供給しますが、そうでないものもあります。図のようにイヤホンマイクからのケーブルの先のミニジャックの先端と付け根の部分の電圧をテスターで見るとOKの場合は待機時0V、着信時2.5V程度になります。



一部機種では常にこのマイク端子に電圧が出ている機種や、着信時の電圧が出ないか低い機種もあります。このような場合は、スマートホン/携帯着信方法の変更を行うか、端末の機種変更が必要になります。スマートホン/携帯着信方法の変更は、10-12を参照下さい。

◆ 発信、受信が同じ携帯電話会社の場合

発信側、着信側とも4G回線を利用する場合、発信側からトーン信号が出ないことがあります。この場合は通常の通話モードで無く、発信側はOCN電話や楽天電話などのサービスを用いてください。

または、着信側でトーンが通る契約(例:OCNモバイルONEのSIMカード使用で050あんしんナンバーliteの契約)をするとトーンが通るようになります。

トーンが通らない場合本装置の設定はできません。「11-5.着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定」を有効化するとトーンが通らない電話でも解錠操作はできます。

9. 遠隔操作方法

本装置の遠隔操作は、本装置に電話をかけて音声ガイダンスに従って操作します。



※本装置は、電話機のトーン信号(ダイヤルをする毎にピッポッパツのような音がして信号を伝えます)を感知して操作します。

パルス式電話機の場合は[*]を押してトーン信号がでるように切り替えてから操作して下さい。

下記の手順で行って下さい。

- ① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。
- ② 本装置が電話を取り、通話が始まります。
パスワードが設定されている場合、「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
[パスワード][#]を押します。
装置を初期化した場合のパスワードの初期設定は「7890」に設定されています。
したがって「7890#」を押します。

パスワードが正しい場合は「ピー」という音が鳴ります
パスワードが間違っている場合は「ブー」という音になり、「もう一度パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れ、再度パスワードを入力する事ができます。
3 回間違うと電話が切れます。
10秒以上何も入力を行わないと「ブー」という警告音とともに電話が切れます。
- ③ 数秒待つと「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ④ 本装置を遠隔操作するには、操作毎に決められたサービスコードを入力して行います。
接続している機器の出力を制御する場合は、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して、操作して下さい。
本装置の動作環境の設定を変更する場合は、「11.設定方法」を参照して操作して下さい。
- ⑤ 各操作が完了すると、再び「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
操作が完了した場合は、電話を切って下さい。
続けて操作する事も可能です。
※電話を切った後に、再び遠隔操作を開始する場合は、1 分程度待ってから電話を掛けて下さい。

10. 制御機器の出力を制御する(遠隔操作)

本装置で制御しているエアコン、電気錠などの出力の状態の確認、出力オン・オフを遠隔操作で行います。

この操作は、「8.遠隔操作方法」を参照して、「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

10-1. 制御機器の状態を確認する

制御機器への出力状態を確認する事ができます。

サービスコード : [61][#]

- ・前面パネルの OUT1 の LED はモニター信号に連動して動作します。
- ・OUT1 は本装置内部の JP2 の設定で出力の状態が反転する場合があります(図 8-2 参照)。

例: 「61」「#」 OUT1 がオンの時:「リレー1・オン」の音声ガイダンスが流れます。

OUT1 がオフの時:「リレー1・オフ」の音声ガイダンスが流れます。

10-2. 制御機器の出力をオフする

制御機器の出力をオフすることができます。

サービスコード : [81][#]

設定完了後に、「リレーオフしました」の音声ガイダンスが流れます。(設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)

10-3. 制御機器の出力をオンする

制御機器の出力をオンすることができます。

サービスコード : [91][#]

設定完了後に、「リレーオンしました」の音声ガイダンスが流れます。(※設定により音声ガイダンスが変更されている場合があります。)

10-4. 解錠番号を使って制御機器の出力をオンする

解錠番号を使って制御機器の出力をオンすることができます。(OUT1 に接続された制御機器のみ)

自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。XSW-100 は出荷時にこの設定が有効になっています。(自動ドアや電気錠をOUT1に接続して制御する場合は、OUT1をオンさせた後、一定時間後に自動的にオフする設定を行う必要があります。10-5 の項を参照ください)。

解錠番号はオンライン設定で操作を行い設定することができ、3 個まで登録可能です。

お引渡し時に、設定してお渡しすることも可能です。

解錠番号には 4 桁の数字を登録しますが、「パスワードと同じ番号」及び「0000」を登録する事はできません。

解錠するには、下記の手順で行って下さい。

- ① 本装置が接続されている電話回線に電話をかけます。
- ② 着信すると「パスワードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れます。
- ③ 解錠番号を押した後、「#」を押すと制御機器が解錠します。

※パスワードを「9999」に設定して、パスワードの問い合わせを省いている場合は、解錠番号を使って解錠する事ができません。

解錠番号を登録する場合は、「11-12.解錠番号の登録」を参照して行って下さい。

11. 装置の詳細設定(遠隔操作)

本装置の動作環境を設定するサービスコードを記載します

この操作は、「8.遠隔操作方法」を参照して、パスワード入力後「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れてから操作して下さい。

<遠隔地から電話をかけて設定する方法>

- ① 「8.遠隔操作方法」を参照して、本装置に電話を掛けてパスワードを入力し遠隔操作を開始します。
「サービスコードをどうぞ」と音声ガイダンスが流れてから、オンライン設定のサービスコードを押します。
[0000] [#]
オンライン設定を開始する場合は、必ずこのサービスコード(0000#)を入力してから行います。
- ② 電話呼出し中に、本装置の「SET」ボタンを押すと、本装置が着信し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。パスワードを入力後、サービスコード(0000#)を入力するとオンライン設定が開始されます。(電話回線接続の場合のみ)

設定で変更できるのは下記の項目です。

- パスワード
- 呼び出し時間
- リトライ呼び出し機能
- ラインモニター機能
- 出力オフ後に自動的にオンするまでの時間
- 出力オン後に自動的にオフするまでの時間
- 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる
- 音声ガイダンスの変更
- 音声ガイダンス遅延時間
- JEMA 端子の設定
- 解錠番号の登録
- 全ての設定を初期化する

電話設定が開始したら、設定内容によって、「10-1.パスワードの設定」～「10-13.全ての設定を初期化する」を参照して操作して下さい。

11-1. パスワードの設定

パスワードは「7890」が初期設定されていますが、セキュリティ上変更する事をお勧めします。

サービスコード : [01][パスワード][#]

(例)パスワードを「4567」に設定する場合

014567#

※パスワードに「9999」を設定すると、遠隔操作を開始する時のパスワードの問い合わせを省く事ができます。

11-2. 呼び出し時間の設定

本装置に電話を掛けてから、自動的に応答するまでの時間を変更します。

初期設定は、6 秒に設定されています。

本装置と電話機を併設している場合に、本装置の応答を遅らせたい時に設定して下さい。

併設した電話機で受話器を取る前に本装置が応答するのを防ぎます。

サービスコード : [021][呼び出し時間(秒数)][#]

[呼び出し時間(秒数)] : 1~99 秒まで設定可能

(例)呼び出し時間を 30 秒に設定する場合

02130#

11-3. 出力オン後に自動的にオフする設定

制御機器の出力をオンしてから、一定時間後に自動的に出力をオフすることができます。

この機能を設定すると、出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オンした時に自動的に動作します。

電気錠や自動ドアを一時的に出力オンして解錠させるような場合に設定して下さい。

サービスコード : [041][リレー番号][オフまでの時間(秒数)][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1 に対応します。

[オフまでの時間(秒数)] : 1~9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオンしてからオフするまでの時間を 5 秒に設定する場合

04115#

※設定を解除する場合

サービスコード : [040][リレー番号][#]

11-4. 出力オフ後に自動的にオンする設定

制御機器の出力をオフしてから、一定時間後に自動的に出力をオンすることができます。この機能を設定すると、出力ボタンを押すか、遠隔操作で出力オフした時に自動的に動作します。

パソコンの出力をオフした後に、自動的に再起動させるような場合に設定して下さい。

サービスコード : [042][リレー番号][オンまでの時間(秒数)][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 に対応します。

[オンまでの時間(秒数)] : 1～9999 秒まで設定可能

(例)リレー番号 1 の制御機器をオフしてからオンするまでの時間を 30 秒に設定する場合

042130#

※設定を解除する場合

サービスコード : [040][リレー番号][#]

11-5. 着信した時に自動的に出力オンまたはオフさせる設定

本装置で着信した時に、サービスコードを入力せずに、自動的に出力オン・オフさせる事ができます。

出力オフする : [06][リレー番号][1][#]

出力オンする : [06][リレー番号][2][#]

[リレー番号] : 「1」は OUT1、「2」は OUT2、「3」は OUT3 に対応します。

(例)リレー番号 1 の制御機器を自動的にオンさせる場合

0612#

※設定を解除する場合(自動的に出力オン・オフしない)

サービスコード : [06][リレー番号][0][#]

さらに、パスワードを「9999」に設定しておけば、パスワードもサービスコードも入力せず着信するだけで出力オン・オフを実行する事ができます。

パスワードを変更する場合は、「11-2.パスワードの設定」を参照して操作して下さい。

自動的に出力オン・オフした後に、電話回線を切断させる事ができます。

※着信用スマートホン/携帯電話を使用している場合は設定できません。

サービスコード : [037][#]

この設定を行った場合、電話回線を切断するまでに 10 秒程度の無音状態があります。

この無音状態の間にサービスコードを入力すれば、通常の遠隔操作も可能となります。

※設定を解除する場合(電話回線の切断をしない)

サービスコード : [038][#]

11-6. 音声ガイダンスの変更

本装置で制御機器の出力オン・オフした時に流れる音声ガイダンスを変更できます。

サービスコード : [07][リレー番号][コード][#] (リレー番号0ですべてのリレー)

↑

コード	操作	音声メッセージ
0	出力オフ	リレーオフしました
	出力オン	リレーオンしました
1	出力オフ	解錠しました
	出力オン	施錠しました
2	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
3	出力オフ	施錠しました
	出力オン	解錠しました
4	出力オフ	エアコンオフしました
	出力オン	エアコンオンしました

「コード」の「3」は、受付電話機能<XSL-100>、マンション用電話解錠機能<XSR-100>で有効です。

受付電話機にも音声ガイダンスが流れます。

(例)リレー番号 2 の制御機器に音声ガイダンスの「1(解錠しました・施錠しました)」を設定する場合 0721#

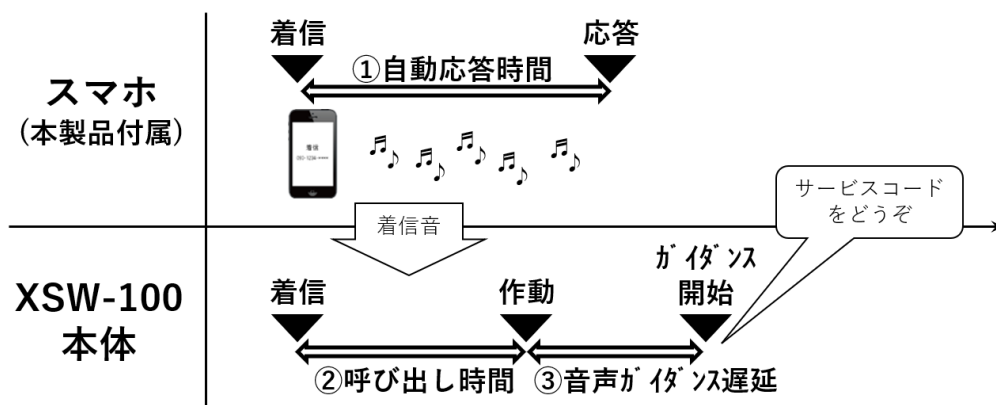
11-7. 音声ガイダンス遅延時間の設定

スマートホン/携帯電話の機種によっては、着信後数秒間、音声ガイダンスが聞こえない場合があります。その場合は、着信してから音声ガイダンスが始まるまでの時間を遅らせることができます。

サービスコード : [022][遅延時間(秒数)][#]

[遅延時間(秒数)] : 0~9 秒まで設定可能

(例)遅延時間に「8」を設定する場合 0228#



11-8. 解錠番号の登録

解錠番号を使って制御機器の出力をオンすることができます。(リレー接点 1 に接続された制御機器のみ)

自動ドアや電気錠を遠隔操作で解錠する場合の機能で、パスワードを入力せずに解錠する事が出来ます。

解錠番号は最大 3 個まで登録可能です。4 桁の数字を登録します。

「パスワードと同じ番号」及び「0000」は無効となるので登録しないでください。また、設定した解錠番号を取り消すときに「0000」を入力してください。

<解錠番号 1 個目の登録>

- ① 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008050][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ② 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008060][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例)解錠番号を「1234」にする場合

00805012#

00806034#

<解錠番号 2 個目の登録>

- ③ 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008100][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ④ 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008110][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例)解錠番号を「0001」にする場合

00810000#

00811001#

<解錠番号 3 個目の登録>

- ⑤ 1、2 桁目の設定

サービスコード : [008120][解錠番号 1、2 桁目][#]

- ⑥ 3、4 桁目の設定

サービスコード : [008130][解錠番号 3、4 桁目][#]

(例)解錠番号を「1020」にする場合

00812010#

00813020#

11-9. スマートホン/携帯電話の着信方法の変更

着信用スマートホン/携帯電話を使用する場合、使用するスマートホン/携帯電話にあわせて、本装置が着信を検出する方法とスマートホン/携帯電話が通話開始する方法の設定を行います。

■着信検出方法の選択

工場出荷状態では、イヤホンマイクのマイク端子電圧 [09][0][#] が設定されています。

サービスコード：[09][0][#] 初期設定

スマートホン/携帯電話が着信し、呼出音を出している時にイヤホンマイクのマイク端子に電圧が現れると本装置が動作を開始し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。

注意：常に電圧が出ている携帯電話では、正しく動作しません。

サービスコード：[09][1][#]

スマートホン/携帯電話が自動応答機能により着信し通話状態になった後、発信側で「*」を押すと、そのトーンを検出して本装置が動作を開始し、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。

サービスコード：[09][2][#]

スマートホン/携帯電話の呼出音が、設定された呼出し時間以上継続すると、「パスワードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れます。呼出し時間設定は、「11-3 呼出し時間の設定を参照」

携帯電話の呼出音は、途切れない音に設定してください。

■通話開始方法の選択

- ・スマートホン/携帯電話の自動応答機能を使用する

自動応答の時間設定は、本装置の呼出し時間設定より長く設定してください。

(「11-3 呼出し時間の設定を参照」)

スマートホン/携帯電話の機種によって設定方法は異なりますので、各端末の取扱説明書をご覧ください。

- ・本装置の通話開始機能を使用する。

(スマートホン/携帯の機種により機能しないものがあります)

サービスコード：[09][3][#] (解除は[09][4][#])

設定例1：スマートホン/携帯電話の自動応答を使用する

スマートホン/携帯電話の自動着信時間:7 秒に設定(スマートホン/携帯電話の設定)

092# ... スマートホン/携帯の呼出音を検出する。

0216# ... 本装置の呼出し時間設定を 6 秒に設定(初期設定されています)

0222# ... ガイダンス遅延を 2 秒に設定

動作：呼出し音 3 回(6 秒)で本装置が着信検出、7 秒目に携帯が着信(通話開始)、8 秒目にガイダンス(パスワードをどうぞ)が聞こえる。

設定例2：スマートホン/携帯電話の自動着信機能無し(設定できない場合)

092# ... スマートホン/携帯の呼出音を検出する。

0216# ... 本装置の呼出し時間設定を 6 秒に設定(初期設定されています)

- 0222# … ガイダンス遅延を2秒に設定
 093# … 通話開始を本装置から行う
 動作：呼出し音3回(6秒)で本装置が着信検出し、携帯を着信させる。
 8秒目にガイダンス(パスワードをどうぞ)が聞こえる。

11-10. 全ての設定を初期化する

本装置のオンライン設定の内容を全て初期化する事ができます。
 設定内容を間違えて変更した為に、本装置の動作が不安定になった場合などに行って下さい。

※正しく設定されている項目も全て初期化されます。

サービスコード : [0098765] [#]

制御機器が JEMA 端子を使用している場合は、初期化後に追加でサービスコードを設定する必要があります。

「12-11.JEMA 端子の設定」を参照して設定して下さい。

下記の型番は、初期化後に追加でサービスコードを設定する必要があります。

- 受付電話機能<型番:XSL-100>
 「XSL-100 取扱説明書」の「受付電話機能の初期設定」を参照して設定して下さい。
- マンション用オートロック電話解錠機能<型番:XSR-100>
 「XSR-100 取扱説明書」の「マンション用解錠機能の初期設定」を参照して設定して下さい。設定を初期化すると、登録されている室番号・電話番号も消去されます。ご注意ください。

※XSW-100において初期化を実施した場合、一部設定が出荷時から変更されます。

下記表の設定手順①～⑧をご参考に再設定してください。

設定手順	サービスコード	内容
①	[096] [#]	3回呼出音が聞こえた時点で OUT1 オン
②	[04115] [#]	OUT1 は通常オフでオンした後 5 秒後にオフに戻る
③	[02113] [#]	13 秒以上呼び出しを継続すると装置に着信
④	[0713] [#]	サービスコードで91 #を実行すると OUT1 がオンして音声ガイダンス解錠しましたが聞こえる
⑤	[092] [#]	呼出音を検出する設定
⑥	[0222] [#]	ガイダンスディレー2秒
⑦	[019999] [#]	パスワード入力省略
⑧	[0612] [#]	着信時 OUT1 オン

12. 装置の詳細設定(装置の「TEL」に接続した電話機にて直接設定)

遠隔操作の他に、「TEL」に接続した電話機を使って直接設定することができます。

<本装置の「SET」ボタンを押して設定する方法>

- (ア) 本装置の TEL に電話器を接続します。
 - (イ) 電話器の受話器を上げ、本装置の「SET」ボタンを押すと、本装置が動作し、「ピー」という音と「サービスコードをどうぞ」の音声ガイダンスが流れオンライン設定が開始されます。
- サービスコードは、遠隔操作の場合と同じです。
設定内容によって、サービスコードを入力し、設定を行うことができます。

サービスコード一覧

遠隔操作で入力するサービスコードの一覧を下記に表示します。

尚、サービスコードで[リレー番号]を入力する場合は、型番によって入力する番号が変わります。

型番により、[リレー番号]に使用できる番号が変わります。

12-1. 制御項目一覧

詳細については、「9.制御機器の出力を制御する」を参照して下さい。

制御項目	サービスコード	内容
パスワードの入力	[パスワード][#]	初期値:7890#
制御機器の出力の状態確認	[6][リレー番号][#]	出力の状態により音声ガイダンスが流れます。 出力オンの時:「リレー1・オン」 出力オフの時:「リレー1・オフ」
制御機器の出力をオフする	[8][リレー番号][#]	指定のリレーをオフする
全ての制御機器の出力をオフする	[80][#]	
制御機器の出力をオンする	[9][リレー番号][#]	指定のリレーをオンする
全ての制御機器の出力をオンする	[90][#]	
解錠番号の入力	[解錠番号][#]	パスワードの入力無しで制御機器の出力をオンする(リレー接点出力1に接続されている制御機器のみ)

12-2. 設定項目一覧

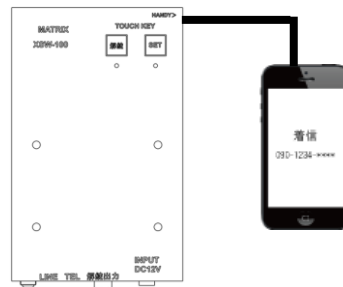
詳細については、「11.設定方法」を参照して下さい。

設定項目	サービスコード	内容
オンライン設定開始	[0000][#]	下記の設定を可能にする。
パスワードの設定	[01][パスワード][#]	初期値:7890 設定可能範囲:1~9999 パスワードに 9999 を設定した場合は、遠隔操作開始時のパスワードの問い合わせを省略できます。
呼び出し時間の設定	[021][呼び出し時間][#]	初期値:6秒 設定可能範囲:1~99秒
出力オン後に自動的にオフするまでの時間を設定	[041][リレー番号][オフまでの時間][#]	[オフまでの時間]:秒数 解除:[040][リレー番号][#]
出力オフ後に自動的にオンするまでの時間を設定	[042][リレー番号][オンまでの時間][#]	[オンまでの時間]:秒数 解除:[040][リレー番号][#]
着信した時に自動的に出力オン・オフさせる設定	[06][リレー番号][コード][#]	[コード]設定値
		0 自動的に出力オン・オフしない(初期値)
		1 自動的に出力オフする
2 自動的に出力オンする		
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断する	[037][#]	
自動的に出力オン・オフした後に電話回線を切断しない	[038][#]	
音声ガイダンスの変更	[07][リレー番号][コード][#]	[リレー番号]:0で全てのリレー
		[コード]設定値
		0 リレーオン・オフしました(初期値)
		1 解錠・施錠しました
		2 施錠・解錠しました
3 施錠・解錠しました (受付電話機能 <XSW-211LOCK>及びマンション用解錠機能<XSW-211ROOM>に対応)		
4 エアコンオン・オフしました		

設定項目	サービスコード	内容
音声ガイド遅延時間	[022][遅延時間(秒数)] [#]	初期値:0秒 設定可能範囲:0~9秒
解錠番号①の登録	[008050] [解錠番号①1、2桁目] 「#」	
	[008060] [解錠番号①3、4桁目] 「#」	
解錠番号②の登録	[008100] [解錠番号②1、2桁目] 「#」	
	[008110] [解錠番号②3、4桁目] 「#」	
解錠番号③の登録	[008120] [解錠番号③1、2桁目] 「#」	
	[008130] [解錠番号③3、4桁目] 「#」	
携帯着信方法の選択	「09」「0」「#」	携帯のマイク端子電圧で動作開始
	「09」「1」「#」	トーン「*」で動作開始
	「09」「2」「#」	呼出音(連続)で動作開始
全ての設定を初期化する	[0098765][#]	

13. 着信用スマートホン/携帯電話での制御

本装置とスマートホン/携帯電話を接続して使用する場合には、便利な機能や注意点があります。



13-1. 便利な機能

スマートホン/携帯電話のベルを鳴らしただけで、着信する前に本装置を自動的に動作させる事ができます。その為、着信前に電話を切ると通話料がかかりません(一部機種のみ対応可能)。XSW-100 の場合は出荷時からこの設定がオンになっています。

着信せずに本装置を自動的に動作させるには、下記の設定が必要となります。

また、30 秒以上呼出を継続すると通常通り着信するように設定します。

- サービスコード「096#」を設定。 解除するには、097#を設定する。
- 出力1を自動的にオン・オフさせるように設定する(「11-6. 出力オン後に自動的にオフする設定」を参照)

例 04115# リレー1の ON 動作は、5 秒間 ON し OFF に戻る動作とする

- スマートホン/携帯着信検出を設定する。

例 092# 呼出音の有無を検知する設定。呼出音の音量設定必要(中程度)

02125# 呼出し時間を 25 秒に設定。

30 秒以上の呼出しを行うと着信するように設定するには、次の A か B のどちらか一方の設定を行ってください。両方を設定すると通話が切断されますので注意してください。

- A: サービスコード 093#を設定する。
着信用スマートホン/携帯電話の自動着信機能は、OFF にする。
(093#を解除するには、094#を行ってください)
- B: 着信用スマートホン/携帯電話の自動着信機能を ON に設定し、
時間を 30 秒に設定する。

14. リレー接点出力とセンサ入力の回路

A. リレー接点出力

リレーは24V1A が最大定格ですのでこれ以上の使用はしないでください。火災などの危険があります。リレー接点出力1の回路は図8-1のようになっており、工場出荷時は図 17-1 の通常位置になっていますが、JP2を切り替えることでリレーの MAKE 接点とBREAK 接点への接続を切り替える事ができます。ただし音声ガイダンスは変わりませんので注意してください。

リレー接点出力2は、切り替え機能はありません(通常オープン固定となっています)。

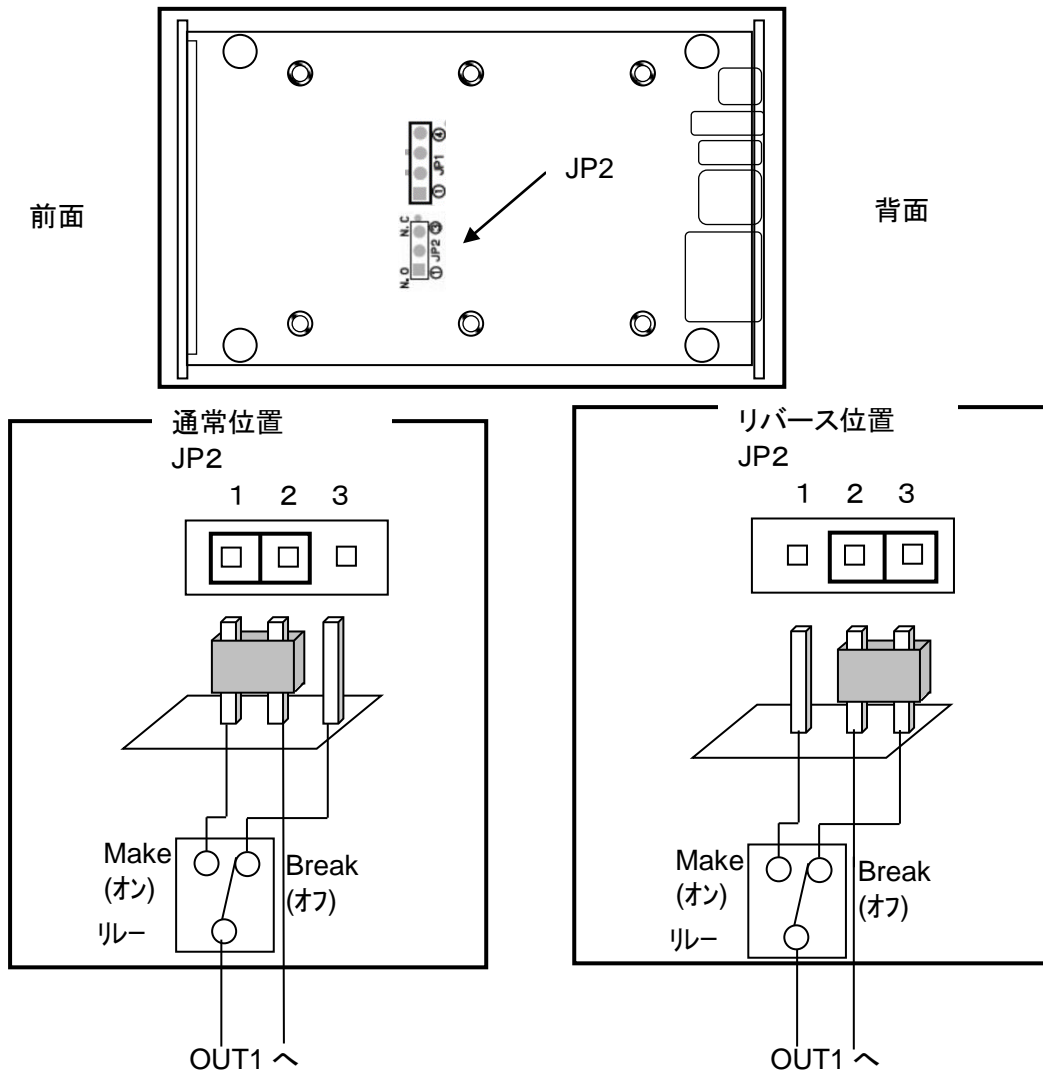


図 17-1 リレー接点出力回路

15. 仕様一覧

項目	内容	備考
入力電圧	AC100V (50Hz 60Hz)	付属のアダプタ(DC12V 出力)を使用する
消費電力	最大3W	
リレー接点出力端子	1	OUT1
リレー接点出力定格	最大 24V 1A	絶対に定格を超えないでください。 OUT1 は、メークブレークはジャンパで変更可
出力端子適合電線	定格適合電線 単線:Φ1.0mm、 撚線:0.75mm ² 素線径Φ0.18mm 以上 標準剥き線長 9~10mm	使用可能電線範囲 単線 : Φ0.4mm~Φ1.2mm 撚線 : 0.2mm ² ~0.75mm ² 素線径Φ0.18mm 以上
設定方式	電話機から音声ガイダンスに従い DTMF(トーン)信号で設定	
制御方式	電話回線からDTMF(トーン)信号で 制御	音声ガイダンスあり
使用環境	温度0~40℃ (湿度20~80%)	ただし結露なきこと
サイズ(W x H x D)	350 x 300 x 80mm	ウォールボックスを含む
質量	1400g	ウォールボックスを含む

16. 使用上の注意

- 本装置を人の生命や、経済的に重大な損失を与える可能性のある機器へ使用する事はおやめください。
- リレー接点出力の最大定格は24V 1A です。
これを超える装置又は回路への接続はおやめください。
最悪装置の発煙、発火を引き起こします。
- 本装置は室内用です。
屋外および日光が直接当たる所では使用できません。
- 本装置は通常の電子回路で構成されています。
場合によっては故障する場合があります。
従って本装置の故障および不具合によって発生したいかなる責務も当社はその責を免れるものとします。

マトリックス電子株式会社

フリーダイヤル: 0120-967-232

E-mail: mail@mtrx.jp